



とりこえ・なぎさ

1999年トックベアリング(現TOK)入社。趣味は旅行やドラマ観賞などのほかに占い。「動物占いをしたくて、会社の人の誕生日を聞いて回ってます」。血液型:A型、星座:獅子座。東京都出身。

鳥越 渚さん

(株)TOK

国内事業統括部 1G テクニカルサポートグループ

みんなとの協力で 最高の製品を開発したい

会社との運命的な出会い

私は、樹脂製ベアリングなどを製造するTOKで、プラスチックを主軸とした機械要素部品の設計や性能評価を行っています。

学生時代は高等専門学校に進み、航空機の機体設計を学びました。いよいよ就職活動を始めたときには、「5年間も勉強したし設計に進みたい」という想いが強くありました。しかし学校に届く求人は、修理サービスや現場作業者が多く、設計で女性を採用する企業は多くありませんでした。また、航空機の設計を学んでいたものの、男性と比べて力はないので、極力小さなものを扱う方が自分に合うのではないかと感じ始めていました。そうして設計者になること自体を諦めかけていた頃に、設計者を募集しており、小さなものを扱う会社という点に加え、自宅に近い会社という当社を見つけました。私にとって運命的な出会いでした。

入社した私は研修を経て技術部に配属されました。当時は、コストや量産性を考慮した設計や関連業務に追われていました。徐々に慣れていきましたが、当社の製品は加工や材料に関する情報量が非常に多く、日々新しい知見が生み出されます。そのため必要な知識は減らずに増えていきます。学ぶことが尽きることがなく大変ですが、自身の成長も感じる事ができ、やりがいのある仕事だと実感しています。

早いもので入社から18年が経ち、これまで育児休業を取ったりと、家庭中心になってしまうこともありますが、周りの方に協力してもらえることに本当に感謝しています。

良い設計をするには、当然設計者の高い技量が必要ですが、周囲との協業もとても大切です。設計者としての技量をさらに磨くことは当然のこととして、人と接することが好きな性格を活かして、周りを巻き込み、仲間の意見を図面に集約させ、製品の完成をみんなで喜ぶというのが自分らしいのかなと思っています。

教えてもらう立場から教える立場に

最近、1年かけて完成させたトルクリミッターという製品があります。この製品は、一定のトルクに達すると内部がスリップして動力を遮断し、周辺部品の過負荷を防止する機構部品です。摩擦・摩耗が性能の良否を分ける重要な要素ですので、トライボロジーの知識は不可欠です。これまでだと金属同士の摺動部にグリースを使って潤滑していたところを、新製品では樹脂部品(スリーブ)と金属(コイルバネ)の組み合わせを無潤滑で高トルク対応させました。当社では初の試みでしたので、樹脂の材質選定やバネの加工方法、製品の組立て方法や評価方法など、すべての工程で試行錯誤を重ね、やっと良い製品に仕上がりました。直属の上司と二人三脚で開発しましたが、その上司がこの春から中国に赴任します。身近な相談相手がいなくなることに不安はありますが、これまでの経験を活かして今後も新製品開発に携わりつつ、後輩の育成にも取り組みたいと思います。現在は、耐荷重を向上させたプラスチックベアリングの開発に従事し、今秋頃の完成を目指しています。